

保土ヶ谷区青少年の地域活動拠点
運営団体選定結果報告書

令和4年2月

1 選定方法

(1) 手順

ア 選定にあたり、青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。

イ 青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 100 点満点の計 500 点満点とし、最低基準を 300 点としました。

ウ 選定評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

(2) 検討会 委員（50 音順）

島田 章	保土ヶ谷区民生委員・児童委員協議会主任児童委員代表
白石 勝己	保土ヶ谷区青少年指導員協議会会長
福田 幸男	横浜国立大学名誉教授
堀 功生	保土ヶ谷区連合町内会会長
水谷 裕子	NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長

(3) 選定評価委員会 委員（役職）

こども青少年局青少年部長
こども青少年局青少年育成課長
保土ヶ谷区地域振興課長
保土ヶ谷区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長
教育委員会事務局西部学校教育事務所指導主事室長

2 選定結果

(1) 応募団体

1 団体（特定非営利活動法人リロード）から応募がありました。

(2) 評価

(※配点及び応募団体の採点欄は、選定評価委員会の委員5人全員の合算点です。)

評価項目		配点	応募団体の採点
基本方針	(1) 青少年育成施策に関する理解について	25	21
	(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	50	31
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	75	46
	(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	75	47
	(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	75	46
	(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	75	41
	(5) その他（保護者へのアプローチや保土ヶ谷区の特性・課題を踏まえた事業の実施等）	75	35
事業運営	(1) 収支計画について	25	18
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	19
合計点数		500	304

3 選定評価委員会における主な意見

- ・ 青少年の地域活動拠点がどうあるべきかという考えについては、概ね理解されています。少人数スタッフで週5日の運営を行っている点も努力が見られます。
- ・ 利用者が限られており、広報が不足している状況が見られます。
- ・ 検討会でも指摘されたように、計画に具体性が欠けていました。地域の皆さんともよい関係を築き、地域活動の拠点となるよう主体的にアプローチしていただきたい。
- ・ コロナ禍での活動制限はしばらく続くと想定されますが、新たな企画を打ち出し、拠点の場所も積極的に活用して、運営内容を深めていただきたい。
- ・ 長年の実績に基づいた具体的かつ現実的な計画を立ててほしい。法人の主体的な活動や、利用者増に向けた拠点の周知を期待します。

4 主な選定スケジュール

時期	経過項目
令和3年10月26日（火）～令和3年11月26日（金）	公募期間（申請の受付）
令和3年10月26日（火）～令和3年11月12日（金）	質問の受付
令和4年1月13日（木）	選定にかかる検討会開催
令和4年1月13日（木）	選定評価委員会開催

(参考：選定評価基準)

評価項目	審査の視点	配点
1 基本方針		15
(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	・「横浜市中期4か年計画」政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」や「横浜市子ども子育て支援事業計画」の基本施策②「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」を踏まえた事業計画になっているか。	5
(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	・期間中の具体的な達成目標とその計画方針が示されており、実現性があるか。	10
2 事業実施計画		75
(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	・青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供について、取組内容が具体的に示されており、実現性があるか。	15
(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	・青少年が仲間や多世代と交流する機会の提供について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	・地域資源を活用した社会参加プログラムの実施について、具体的に示されており、実現性があるか。あわせて地域の様々な団体との連携が見込めるか。	15
(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	・地域の様々な団体・機関・施設との交流や連携、人材の育成事業の企画について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(5) その他（保護者へのアプローチや保土ヶ谷区の特長・課題を踏まえた事業の実施等）	・保護者向けの事業の企画や広報活動、その他の保土ヶ谷区の特長・課題を踏まえた提案事業について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
3 事業運営		10
(1) 収支計画について	・利用者負担の考え方を含めて、合理的な収支計画が示されており、応募団体の提案する補助金額が適正であるか。	5
(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	・人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みが具体的に示されているか。	5
		100